

浜岡原子力発電所 5号機 使用済燃料貯蔵プール内での異物確認について

2013年3月11日

発生号機	5号機 定期検査中(津波対策実施中) :改良型沸騰水型、定格電気出力138万キロワット
発生年月日	2013年3月11日(異物を確認した日)
状況	<p>当社は、5号機原子炉建屋5階(放射線管理区域内)の使用済燃料貯蔵プール^{※1}において、燃料の点検をおこなっていたところ、1体の燃料集合体内部に長さ1cm程度の紐状の異物を確認しました。</p> <p>この点検は、2011年5月14日に原子炉停止後の冷温停止操作過程において発生した海水混入事象に伴う燃料の点検・健全性評価のため、ファイバースコープを用いて、詳細に点検をおこなっているものです。</p> <p>なお、ファイバースコープの画像およびこれまでのプール水の分析結果から、当該燃料棒からの放射性物質の漏えいはないと判断しています。</p> <p>この異物の取り扱いについては、今後、検討してまいります。</p>
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに係わる事象ではありません。
お知らせ基準	「表 2-9 原子炉又は使用済燃料貯蔵プールで異物を発見したとき又は混入したとき。圧力抑制室等に異物を発見したとき。」に該当します。

※1 使用済燃料貯蔵プールは、使用済燃料集合体や使用済制御棒等を貯蔵するための設備です。
 ※2 燃料集合体の中央部に設けられている中空の管で、内部に冷却材を流すことにより燃料集合体の出力の最適化を図っています。

以上

